

第二十五回

上田城跡能



演目

和泉流 狂言

ふなわたしむこ

「舟渡聲」

のむら まんさい
野村 萬齋

観世流 能

おおえ やま

「大江山」

かんぜ よしまさ
観世 喜正

【日時】令和4年8月27日(土) 13時30分開演(12時20分開場)
16時終演予定

【会場】サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター) 大ホール

同日 / 12時40分～13時10分
(12時20分開場)

能楽講座

講師 / 観世喜正 本公演チケット購入者のみ対象

能面の展示

上田市立博物館(上田城跡公園内)で、上田市指定文化財「濱村家能面コレクション」から、今回の演目で使用するものと同種の能面の展示などを行います。
期間: 8月1日(月)～8月30日(火) 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日: 3、24日 (標記期間中は上田城跡能鑑賞券提示で入場無料)

鑑賞券 / S席3,500円、A席3,000円、B席2,500円(全席指定・税込) 7月6日(水) 10時から発売

【鑑賞券発売場所】 サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター)、上田市交流文化スポーツ課(上田市役所本庁舎4階)、上田文化会館、丸子文化会館、真田中央公民館、サントミュージゼインターネットチケット予約システム(会員登録が必要です)

【お問い合わせ】 上田市交流文化スポーツ課 (☎0268-75-2005) 平日8時30分～17時15分

【主催】 上田新能を観る会(上田観世会、上田宝生会、上田市文化芸術協会、上田市、上田市教育委員会)

【後援】 長野県能楽連盟、信濃毎日新聞社、信州民報社、株式会社東信ジャーナル社、週刊上田新聞社、上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送株式会社

【協賛企業】 上田城跡能にご理解・ご協力いただきました各社(50音順)

愛真女性探偵社、あおやぎ眼科、(株)天田不動産、(株)ANDO、(株)飯島商店 みすず館、(株)インターサポート、上田高砂殿、上田土地建物(株)、上田プラスチック(株)、大久保医院、手打百藝 おお西、手打そば 刀屋、(有)菅清園、木町薬局、クリナップ(株)、(有)黒沢アルミ建材、クロサワメタル(株)、(株)小泉中部、医療法人芳栄会 甲田クリニック、(株)幸和建設、小柳産業(株)、JA信州うえだ、塩沢税務会計事務所、(株)しなのエンジニアリング、(株)島田屋、省和タクシー(株)、昭和電機産業(株)、昭和葉業(株)、信州玉姫観光グループ、進和商事(株)、住吉耳鼻咽喉科、セブンイレブン上田常田店・上田常田3丁目店・上田材木町店、田口印刷(株)、(株)武重商会、(株)たちばな 上田店、(株)タック、医療法人友愛会 千曲荘病院、TOTO(株)、(公社)長野県宅建協会 上田支部、中山住宅資材、(株)西入不動産鑑定事務所、豊上モンテリア、眠りの専門店 まるげん、(株)丸上、(有)水出サッシ建材、水沢税理士事務所、メガネのヤジマ、(有)山辺建材、(株)ユウス、横林薬局、ロッテ いざよい、(株)ワールド重機開発

新型コロナウイルス感染症の動向によっては、開催内容が変更となる場合があります。



JAPAN CULTURAL EXPO

第二十五回 上田城跡能 令和四年八月二十七日(土)

長野県上田市 サントミュージーゼ(上田市交流文化芸術センター) 大ホール

十二時二十分 開場

能楽講座 十二時四十分 観世 喜正

本公演 午後一時三十分 開演

《見どころ解説》 観世 喜正

巴 永島 充

仕舞 柏崎 道行 観世 喜之

船橋 松木 千俊

地謡 高橋 康子
鈴木 啓吾
弘田 裕一

桑田 貴志

和泉流 ふなわたしむこ

狂言 舟渡 智

シテ(船頭・男) 野村 萬斎

アド(智) 野村 裕基
小アド(短) 高野 和憲

後見 内藤 連

《休憩 十五分》

子方(童) 観世 和歌
子方(童) 金子仁智翔

前シテ(酒天童子) 観世 喜正
後シテ(鬼) 神

観世流 おおえ やま

能 大江山 ワキ(源頼光) 則久 英志

大鼓 亀井 広忠 太鼓 林 雄一郎
小鼓 飯田 清一 笛 一噌 隆之

ワキツレ(立衆) 大日方 寛

ワキツレ(立衆) 梅村 昌功

ワキツレ(立衆) 野口 琢弘

ワキツレ(立衆) 館田 善博

間(強力) 深田 博治
間(瀧女) 中村 修一

後見 観世 喜之
永島 充

弘田 裕一

地謡 奥川 恒成
中森健之介
桑田 貴志

鈴木 啓吾

奥川 恒治
中所 宜夫
駒瀬 直也

松木 千俊

(午後四時 終演予定)

あらすじ

狂言「舟渡智」(ふなわたしむこ)

京都から初めて妻の実家に挨拶に行く智が天津松本から渡し舟に乗る。酒好きの船頭は、智の持つ酒樽に目をつけ振舞うよう迫るが、断られると、舟を漕ぐのをやめたり、激しく揺らしたりして強引に無心する。智は仕方なく酒を飲ませ、軽くなった酒樽を持って舅宅へ出向く。やがて外出していた舅が帰宅するが、舅は智の顔を見てびっくり仰天し……

舟に乗っている様子が棹一本で表現されるなど、狂言のマイムとしての面白さがあります。舅と智の掛け合いの妙をお楽しみ下さい。

能「大江山」(おおえやま)

丹波国大江山に住む鬼神退治の勅命を受け、山伏姿に身を扮して都を出た源頼光一行(ワキ・ワキツレ)は、鬼神の隠れ家に辿り着いた。一行が宿を求めると、酒呑童子(前シテ)と呼ばれる鬼は一行を招き入れ、酒を振る舞う。酒の席で童子は、自分が酒呑童子と呼ばれる理由を話し、比叡山を追われてから今の隠れ家に到るまでの仔細を語る。酔いつぶれた童子は、一行に隠れ家を他言しないように頼み、寝所に入ってしまう。(中人)

頃を見計らい頼光が寝所を覗き見ると、恐ろしい正体を露した鬼神(後シテ)が眠っている。一行は、時が至ったと鬼神に斬りかかり、激闘の末見事に首を打ち落とし、都に帰る。

講座

能「大江山」入門編

本公演で上演される能「大江山」のみどころを解説する講座を行います。

【日時】

令和4年8月6日(土)

午前10時から正午まで(午前9時30分開場)

【会場】

中央公民館 大会議室(定員50名)

【入場料】

無料

【申込先】

7月6日(水)以降に参加者全員の住所・氏名・電話番号をご用意のうえ、電話でお申し込みください。

上田市交流文化スポーツ課

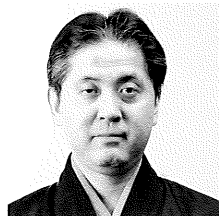
☎ 0268-75-2005

平日午前8時30分から午後5時15分

※定員になり次第締切

【その他】

新型コロナウイルス感染症の動向によっては、開催内容が変更となる場合があります。



かんぜ 観世



よしまさ 喜正



のむら 野村

まんざい 萬斎

演者